

事例番号:290378

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第五部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

2) 今回の妊娠経過

妊娠 26 週 1 日 - 切迫早産のため母体搬送、入院

妊娠 33 週 3 日 胎児心拍数陣痛図上、胎児の健常性は保たれている

3) 分娩のための入院時の状況

管理入院中

4) 分娩経過

妊娠 33 週 4 日

10:25 - 胎児心拍数陣痛図上、高度遷延一過性徐脈または胎児心拍数
80 拍/分台の徐脈を認める

10:30 頃 - 胎児心拍数陣痛図上、基線細変動減少、頻脈、サイトイタルパターンの
を認める

妊娠 33 週 5 日

13:57 胎児機能不全の診断で帝王切開にて児娩出

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:33 週 5 日

(2) 出生時体重:2352g

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.4、PCO₂ 不明、PO₂ 不明、HCO₃⁻ 不明、BE -4.4mmol/L

(4) Apgar スコア:生後 1 分 3 点、生後 5 分 5 点

(5) 新生児蘇生:人工呼吸(バッグ・マスク)、気管挿管

(6) 診断等:

出生当日 新生児仮死、早産児、低酸素性脳症、低出生体重児の診断

(7) 頭部画像所見:

生後 1 日 頭部 CT で脳浮腫を認める

生後 10 日 頭部 MRI で大脳基底核・視床に信号異常を認める

6) 診療体制等に関する情報

(1) 施設区分:病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 4 名、小児科医 2 名

看護スタッフ:助産師 1 名、看護師 3 名

2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は、妊娠 33 週 3 日の分娩監視装置終了以降、妊娠 33 週 4 日 10 時 30 分頃までの間に生じた一時的な胎児の脳の低酸素や虚血による中枢神経障害であると考ええる。

(2) 一時的な胎児の脳の低酸素や虚血の原因を解明することは困難であるが、臍帯血流障害の可能性が否定できない。

(3) 児の未熟性が脳性麻痺発症の背景因子となったと考ええる。

3. 臨床経過に関する医学的評価

1) 妊娠経過

(1) 当該分娩機関へ入院後の管理(子宮収縮抑制薬の投与、血液検査実施、抗菌薬の投与、連日のノンストレス実施など)は一般的である。

(2) 胎児の肺成熟目的のため合成副腎皮質ホルモン剤を投与したことは医学的妥当性がある。

2) 分娩経過

(1) 妊娠 33 週 4 日 10 時 12 分からの分娩監視装置装着後に超音波断層法で胎児血流を確認し、ノンストレス 1 日 3 回実施、胎児心拍数陣痛図不良が続けば帝王切開と妊産婦に伝え、胎動減少の訴えがあれば分娩監視装置装着を指示したことは一般的である。

- (2) 妊娠 33 週 4 日 10 時 25 分からの胎児心拍数陣痛図所見より、1 日 3 回の分娩監視装置装着・腹部緊満時は分娩監視装置装着の指示とし胎児心拍数モニタリングを行い、妊娠 33 週 5 日 8 時 16 分に「胎児ジストレス」の診断で帝王切開の方針としたことは選択肢のひとつである。
- (3) 「胎児ジストレス」の診断で帝王切開の方針としてから 5 時間 41 分後に児を娩出したことは選択されることが少ない。
- (4) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。
- (5) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

3) 新生児経過

- (1) 新生児蘇生(バッグ・マスクによる人工呼吸、気管挿管)は一般的である。
- (2) 当該分娩機関 NICU へ入院としたことは一般的である。

4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

なし。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

- (1) 事例検討を行うことが望まれる。

【解説】 児が重度の新生児仮死で出生した場合や重篤な結果がもたらされた場合は、その原因検索や今後の改善策等について院内で事例検討を行うことが重要である。

- (2) 胎児機能不全の適応による急速遂娩法として帝王切開を決定した場合には速やかに実施することが望まれる。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

陣痛開始前に発症した異常が中枢神経障害を引き起こしたと推測される事例を集積し、原因や発症機序についての研究を推進することが望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

陣痛開始前に発症した異常が中枢神経障害を引き起こしたと推測される事例の発症機序解明に関する研究の推進および研究体制の確立に向けて、学会・職能団体への支援が望まれる。